

立命館人間科学研究

第44号

目 次

■原著論文

高次脳機能障害と戦略的自己開示

—就労とジレンマに焦点を当てて—

澤岡 友輝 (1)

TEA (複線径路等至性アプローチ) における記号概念の考察

—パース, ヴィゴツキー, ヴァルシナーを手がかりに—

宮下 太陽・上川多恵子・サトウタツヤ (15)

知的障害者に対する投票支援のルーツを探る

—滝乃川学園元職員らの聴き取りから—

堀川 諭 (33)

TEM (複線径路等至性モデリング) の新たな理論的展開

—記号圏とイマジネーション理論を踏まえて—

宮下 太陽・上川多恵子・サトウタツヤ (49)

保安処分に反対する精神障害者の社会運動の主張

桐原 尚之 (65)

■展望論文

共通要因アプローチと心理療法のエビデンス

三田村 仰・谷 千聖 (79)

■実践報告

日本語版 Child and Adolescent Mindfulness Measure の作成および信頼性・妥当性の検討

平松 祐佳・谷 晋二 (93)

執筆者紹介

(103)

『立命館人間科学研究』について

(105)
